

〔A類社会コース, B類社会コース 対象〕

小論文 解答例

令和5年度

一般選抜前期

解答のポイント：

- ・利点と考えられることと問題点と考えられることの双方について、具体的に記述し、それらの相互関係や教育上の影響に関する自身のスタンスや考察を表現することが求められる。
- ・利点として、例えば、大学進学前から教科を学習することにやりがいを見出していること、教科内容への深い理解を持ち、大学でさらに教科の背景となる学問を深めることができるからこそ、生徒に対して深い学びを提供することができる、等が挙げられるだろう。一方、それらは同時に、問題点にもなり得る。例えば、自身の見出している学習のやりがいは他の生徒と共有できるものなのか。「好き」と考えていた同じ学習を「嫌い」と考える生徒もいたかもしれないのに、「好き」という気持ちが強いだけに、自身の「好き」な授業を教員になって生徒に押しつける危険性があるのではないか。あるいは、「得意」だった生徒が教員になったとき、「苦手」だった生徒のことを理解できるだろうか。また、受験科目としての「得意」をもって教科内容の理解が深いと言えるのか。大学で社会科の背景となる学問を修めても、その知識をそのまま伝達するだけの授業であったとしたら、生徒はやりがいを見出すだろうか、等々。以上のことから、例えば、高校時代までの教科観、授業観、教育観を前提に、その延長線上で教員になるというより、自身の教科観、授業観、教育観を相対化することで、利点を利点としてより活かせることができるようになる、そのためには、生徒から教員への転換点となる大学時代の学びが重要になる、等の考察を導き出すことができるだろう。